

活力あふれる 住みよい長崎!

長崎市議会議員



井上重久 No.43 だより

平成29年1月 発行責任者 井上 重久 編集責任者 梅本 一由 長崎市水の浦町1-1 TEL095-861-6032



平成28年長崎港寄港162隻目の「飛鳥II」(平成28年11月7日)



17回目の登壇で一般質問を行う(平成28年12月1日)

長崎サミットの連携について!

ご家族お揃いで健やかなお正月をお迎える事とお慶び申し上げます。皆様におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのことと存じます。

産学官連携のプロジェクト「長崎サミット」は、人口減少が進み、地域経済が衰退傾向にあるなか、歯止めをかけようとして平成22年7月に発足し、基幹製造業、観光・交流・人口、夜景観光・世界文化遺産登録などの取り組みを進め、一定の成果が表れています。昨年12月1日に、「長崎サミット」の連携について一般質問を行い、①長崎の食文化の普及及び発信、②急増するクルーズ客船の受入態勢、③造船・海洋関連産業の人材育成への支援など本市の見解を求めました。

長崎港へのクルーズ客船寄港は、平成

長崎市議会「議長・副議長交代」!

長崎市議会(定数40)は、11月25日開会した定例会において毎熊議長と西田副議長より、「二身上の都合」を理由とした辞職願が提出され賛成多数で許可され

27年131隻、平成28年197隻、平成29年は過去最高の280隻程度(平成28年12月現在)の寄港が見込まれています。一隻当たりの乗員数は、単純計算で約2,700名、一人当たりの観光消費額は約40,000円で、前年度を上回ると思われ、本県観光に果たす役割は大きく、経済波及効果も期待されます。そのためには、受入れ態勢の充実日帰り寄港パターンのなかでの滞在時間の延長、魅力あるルートの提案など関係団体との連携で、消費拡大に繋げる必要があります。

ました。その後、正副議長選挙が行われ第54代議長に野口達也議員(市民クラブ)、第60代副議長に筒井正興議員(明政クラブ)が選出されました。議長選挙の結果は、野口議員29票、向山議員6票、内田議員3票、幸議員2票、副議長選挙の結果は、筒井議員31票、久議員6票、中西議員3票となりました。

就任あいさつで、野口議長より「市民の声を議会に取り上げ、皆さんと共に取り組む」、筒井副議長より「議長の補佐役として議会の公平でスムーズな運営に努力する」との挨拶がありました。今後とものご活躍を期待します。

本年も皆様のご指導・ご鞭撻を願いますとともに、「ご健勝・ご多幸」を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。寒さ厳しき折、お身体ご自愛ください。

長崎市議会議員 井上 重久



メジャー・マクレ・14リーグ 第18回長崎ジャパンカップ国際親善ソフトボール大会 (平成28年11月12日、長崎市総合運動公園運動広場)



長崎新幹線建設推進特別講演会 (平成28年11月6日、諫早観光ホテル)



平成28年度ながさき自治振興推進大会 (平成28年11月5日、長崎市民会館文化ホール)



第26回国連軍縮会議in長崎 (平成28年12月12日、ホテルニュー長崎)



実り恵みの感謝祭2016 (平成28年11月26日、出島ワーフ前)



ラグビーボール贈呈式 (平成28年11月24日、市役所第2応接室)

活動の備忘録

11月~12月

「住民投票条例」を否決!

市議会環境経済委員会は、11月28日「長崎市の旧公会堂の解体中止と再使用に関する住民投票条例について」、8月に続き2度目の直接請求が行われ審査を行った。審査結果は、「施設を恒久的に残す価値はない」解体を決めた議会の決定を尊重すべき」とし、採決の結果8人が反対、1人が賛成し否決された。審査結果を踏まえ、11月30日の本会議において、議長を除く記名投票の結果、賛成12、反対27で条例案を否決した。住民投票条例案の否決は、県庁舎跡地での新庁舎建設を巡り、別の市民団体が5月に求めた分に続き、9月議会の審査と合わせ3回目となった。



2017年(平成29年)の干支の置物「酉(鳥)」

この干支の置物「酉(鳥)」は、雲仙市小浜町の「よろこびの里」の皆さんが製作しためでたい新年に鶏を抱く唐子」をイメージした作品です。干支の酉(鳥)の特徴は親切で世話好き、縁起話は人に時を報せる動物で「とり」はとりこむと言われ、商売などには縁起の良い干支でもあります。本年もご健康で幸多き年でありましますようにご祈念申し上げます。

ご相談は お気軽に!

長崎市議会議員 井上重久

自宅 長崎市大浜町408 ☎ 865-3553
生活相談室 長崎市水の浦町1-1 ☎ 861-1985
<http://inoueshigehisa.net/>

▼一般国道202号線(福田バイパス)道路整備促進協議会及び3協議会は、11月21日に長崎県副知事並びに長崎県議会議員に対し「平成28年度4協議会の要望活動」を行った。いずれの協議会も、道路建設・整備を促進し地域の発展に資することを目的に設置され、各路線の整備推進・早期完成・早期事業化について、今後とも、道路予算の確保など国土交通省、県選出国会議員などへ地元の声を反映する必要がある。

▼県ラグビー協会は、さる11月24日市役所においてスコットランドラグビー協会からの「ラグビーボール贈呈式」を行った。贈呈式では、ラグビーワールドカップ2019において、事前キャンプが長崎市に決定していることから長崎市へ寄贈されたもので、ラグビーボールは市内の小中学校108校に贈られた。このことは、6月末のスコットランドラグビー協会との交流会の時、贈呈の意思表示があり実現したものである。協会関係者はボールに触れて利用してほしい、ラグビー教室の開催にも協力する旨の発言があつている。

編集後記

補正総額約72億2,823万円(特別会計含む)、77の議案を可決・同意!



平成28年第5回長崎市議会定例会は、11月25日から12月14日までの20日間の日程で開催されました。補正予算の概要は、一般会計の平成27年度決算剰余金を積み立てる財政調整基金、新市庁舎建設事業費など一般会計補正予算68億2,123万5千円や、特別会計補正予算4億1,748万4千円、公営企業会計補正予算▲1,048万4千円の総額72億2,823万5千円が上程され可決しました。なお、新市庁舎建設事業費関連の一般会計継続費(▲2億7,700万円)、企業会計継続費の水道負担金(▲855万9千円)・下水道負担金(▲570万6千円)は減額修正となりました。

条例改正では、建物の老朽化、耐震性の不足等により市役所建替えの位置を変更する「長崎市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例」、「公の施設の指定管理者の指定について」市立病院機構が運営する病院名を「長崎みなとメディカルセンター」とする定款の変更など77議案を可決・同意しました。

しかしながら、交通遺児教育手当を廃止する「長崎市交通遺児教育手当を廃止する等の条例」は、全会一致で否決されました。また、「長崎市の旧公会堂の解体中止と再使用に関する住民投票について」は、議長を除く記名投票の結果、賛成12、反対27で条例案を否決しました。

補正予算の主な内容

- ◆財政調整基金
 - …21億6,755万円
 - 一般会計の平成27年度決算剰余金の一部を積み立てるもの。
- ◆庁舎等施設整備事業費
 - 施設改修ほか …2,760万円
 - 〔仮称〕総合事務所」の設置予定場所の施設改修や耐震診断を行うもの。
- ◆琴海南部総合センター(施設改修)
 - 中央卸売市場管理棟及び東長崎土地区画
- ◆臨時福祉給付金
 - …15億4,500万円
 - 国の補正予算に伴い、臨時福祉給付金(経済対策分)を支給するため増額するもの。
- ◆受注者選定審査会費
 - 交流拠点施設 …101万2千円
 - 交流拠点施設の事業者について、適切な選定を行うため、各分野に精通した専門家による審査会を設置するもの。



17回目の登壇

一般質問(要旨)

◆交流拠点施設整備検討推進費 ……514万7千円
交流拠点施設の公募から選定までの一連の業務等について、専門的見地からの支援を受けるもの。

◆新市庁舎建設設計等 ……4,414万円
新市庁舎建設に係る各種調査等を行うもの。

◆がんばらば長崎市応援寄附推進費 ……1億5,225万4千円
ふるさと納税制度により実施している「がんばらば長崎市応援寄附金」の受入額の増が見込まれるため、謝礼品等に係る経費を増額するもの。

◆交流拠点施設整備検討推進費 ……514万7千円
交流拠点施設の公募から選定までの一連の業務等について、専門的見地からの支援を受けるもの。

◆新市庁舎建設設計等 ……4,414万円
新市庁舎建設に係る各種調査等を行うもの。

◆がんばらば長崎市応援寄附推進費 ……1億5,225万4千円
ふるさと納税制度により実施している「がんばらば長崎市応援寄附金」の受入額の増が見込まれるため、謝礼品等に係る経費を増額するもの。

員会」は、平成23年に設立以降、長崎蒲鉾水産加工業協同組合や水産練り製品製造業者を中心に、飲食などの関連事業者や長崎市との連携と協働によるブランド化によって、長崎ならではの「食」を磨きながら、新製品の開発や販路拡大による出荷額の増大、イベントによる賑わいの創出等、地域経済の振興に繋がる取り組みが行われている。



自席から再質問

再質問…長崎市独自の鯨食文化の普及・発信の取り組みは?
回 答…長崎市では、「クジラ月間」である11月に市内料理店において「ながさき今昔クジラ料理フェア」の開催や、家庭でできるくじら料理のレシピ等を紹介した「くじら料理ガイドブック」の作成・配布を行うと共に、「全国鯨フォーラム」参加による意見交換及び「捕鯨の伝統と食文化を守る会」における長崎市ブースの出展等、機会を捉え鯨食文化の普及・発信に努めている。

行代理店に対し九州運輸局や長崎県と連携し、中国人向けには出島における長崎検番体験など食や文化・歴史を組み合わせた「長崎らしさ」を感じられる新たなルートの提案を、欧米人向けには世界文化遺産や文化体験など地域資源を活かした提案を行っている。

外貨を稼ぐ仕組みづくりは、地元金融機関において、松枝ターミナルや浜んまち商店街などに外貨自動両替機や海外発行クレジットカード対応ATMを設置いただいているほか、商店街におけるクレジット決済環境の向上など民間での取り組みが進んでいる。長崎市として、飲食店における多言語メニュー作成支援ウェブサイトを「EAT長崎」の構築や免税店の拡充支援など、飲

食や買い物による消費需要を取り込む受入態勢整備に努めている。

要望…クルーズ客船が急増するなか、客船の大型化も進み、多くの乗客を安全かつ円滑に受け入れる態勢が求められている。平成26年のダブル入港は4回、平成27年は5回、平成28年は7回、平成29年は更に増えるのではないかと考えている。長崎県や長崎港湾漁港事務所、関係団体との事前協議の中で、湾内の安全対策、出島岸壁接岸時の出入国の審査、警備体制などしっかりと対処してほしい。



基幹製造業の三菱重工長崎造船所

質 問…地域の各種団体のネットワークは?
回 答…地域を支える仕組みについては、「人」「拠点」「資金」の3つの視点で取り組むこととしている。まず「人」の視点として、地域の担い手の方々を対象とした講座などを引き続き開催するとともに、まちづくりを支援する職員の資質向上を行う。そして、連携して活動を行うために必要となる「拠点や資金」について、地域へ交付している補助金等を含め、地域への財政支援のあり方等について検討している。

要望…鯨食文化を発信する関係団体等からの提言・要望にはしっかりと対応し、行政からは助言・指導も行ってほしい。長崎発の「オランダ角煮パイ」「長崎独自の食」等についても、長崎の食の強みを活かすべく、「おもてなし」に「食」に力を入れるべきで、事業化(予算計上)含めての対応を要望する。

質 問…「急増するクルーズ客船の受入態勢」における、新たな観光ルートの開発、外貨を稼ぐ仕組みは?
回 答…外国人観光客の興味関心は、「モノ消費」から「コト消費」へと移行している。観光ルートの開発は、船会社や旅

質 問…造船・海洋関連産業の人材育成への支援は?
回 答…人材の確保・育成については、平成25年から3年間「ながさき海洋・環境産業雇用創造プロジェクト」に取り組み、3年間で県下全域では1,165人の雇用が創出され、このうち長崎市においては210人の雇用が創出された。また、技能伝習の円滑化のため、長崎地域造船造機技術研修センターの新人研修にも支援を行い、初任者に必要な溶接など6つの資格取得に努め、今年度288名の研修を行っている。併せて、昨年

地域コミュニティについて
質 問…地域活性化に向けた取り組みは?
回 答…人口減少や少子・高齢化の進展のなかで、暮らしやすいまちであり続けるためには、地域の力を集め、それを行政が応援する仕組みが必要である。「地域コミュニティの仕組みづくりプロジェクト」では、地域の各種団体が連携し、地域の課題を共有した上で、持続的に課題解決に取り組む体制づくりに向けた支援、まちの現状や課題の把握を行う等「わがまちみらい工房」の開



第3回福田地区ネットワーク会議

一般質問の内容および意見・要望は、井上重久ホームページ(議会報告)のなかに掲載していますので、是非アクセス頂ければと思います。

質 問…「急増するクルーズ客船の受入態勢」における、新たな観光ルートの開発、外貨を稼ぐ仕組みは?
回 答…外国人観光客の興味関心は、「モノ消費」から「コト消費」へと移行している。観光ルートの開発は、船会社や旅



平成28年長崎港寄港169隻目の「コスタ・フォーチュナ」